



校長室から

甘利 尚之

12月23日(木) No.7

お蚕様を育てる ～2年生の活動～



かつて、養蚕で栄えた地であるこの塩尻ならではの活動である「お蚕様」。本校出身である、娘、息子が小学校時代、育てていたことを思い出します。休みの際、家に持ち帰り、かわいがっていました。

本年度も2年生がその活動に取り組みました。信大繊維学部のK先生より、お蚕様をいただき、一人一人が、学校の敷地内にある「桑の葉」をとりながら育てました。



左の写真は、お蚕様と自分の様子を描いた絵、一番下の写真は、「繭」を使って作った工作です。

2学年の学年通信に、K先生からのお便りが載せられていました。

「来春には、元気な個体をお配りしたいと思います。

以下は、生徒さんたちへのメッセージ：

カイコとなかよしになったことをおしえてくれるよせ書きをありがとうございました。もし3ねんせいになっても、おなじおともだちのクラスのままですら、ぜひまゆから糸をとることをしましょうね。」

来春、「黒縞系統」という種類のカイコをいただける



という約束ができています。

先日、西部公民館のS先生より、学校ボランティアの希望についての問い合わせがありました。また、「西部まちづくりの会 子育て・教育部会」のT先生方が来校され、学習支援についての希望を聞いていかれました。様々な場で、多くの方に支えられていること、大変ありがたく思います。地域の皆様の善意に、感謝の言葉しかありません。現在の感染状況であれば、地域の皆様にも、もう少しお世話になれるかなと考えます。「オミクロン株」「第6波」…の影響が心配されますが、是非、いろいろな地域の方と直接触れ合う機会を増やしていきたいと考えています。